

2024年9月30日

来年3月に東京で開催される、カブス（鈴木・今永選手）対ドジャース（大谷・山本選手）のMLB開幕2試合の盛況に期待を込めつつ、9月4日、カブス本拠地で始球式をさせて頂いた。訪日団結成など、日米（シカゴ）関係を盛り上げる絶好の機会だ。ところで、米国の始球式、捕手はマスコットで、打者と審判がいない点で日本とは異なる。始球式が上手く行ったか否か、本人以外は誰も気にしていない。



1 日本・米国中西部会 日米合同会議

日本・米国中西部会は、1967年に政府派遣民間経済ミッションのシカゴ訪問を契機に、日本と中西部諸州との貿易と投資の伸長、産業、技術、文化の全般にわたる相互交流促進を目的に、ほぼ毎年交互に合同会議を開催してきている。経済界と州が主導するこの枠組みにはビジネス関係者と各州知事が一堂に会する。長年にわたる経済交流を通じて構築された人的関係と信頼が日米関係を支えている。

今年は、在デトロイト総領事館管轄のオハイオ州で9月8日（日）～10日（火）に開催され、山田大使、進藤デトロイト総領事と共に参加した。米側からはオハイオ知事その他、インディアナ知事とウィスコンシン知事とカンザス副知事が、日本側からはオハイオ州の姉妹県の埼玉県知事その他、群馬県知事と滋賀県知事が参加された。工夫を凝らし自らの州・県の魅力を伝える知事たちは、流石に聴衆の心を掴む術を心得ている

民主党の副大統領候補のウォルズ・ミネソタ州知事。副大統領候補として一時期に名前が挙がったバーガム・ノースダコタ州知事（共）とプリツカー・イリノイ州知事（民）。将来の大統領候補の1人と見られているホイットマー・ミシガン州知事（民）。皆、去年の東京会合を含め、近年の本件会議に参加している。



中西部の歌を熱唱する山本一太知事 閉会挨拶

2 日本の文化芸術の発信

9月14日（土）、シカゴから車で90分、ロックフォードに所在するアンダーソン日本庭園における月見イベント。生け花の展示に囲まれた屋外会場にて、郡司先生による献茶、高橋先生による献花、フランス先生による尺八演奏のコラボレーション。尺八の音に合わせたかのように庭園の野鳥が鳴く。60名の来客が創る空気感も清々しい。終わる頃、赤い夕陽の反対側に満月まであと数日の月が現れた。

この日本庭園は、ポートランドの日本庭園に魅せられたジョン・アンダーソン氏が、同庭園を造営した栗栖氏に依頼して設計造園した。講座や夏の日本祭りをはじめ、日本文化芸術の発信拠点となっている。郡司先生の「日本館」とは車で3時間離れているが、二つの発信拠点が繋がっている。現地の方々が日本文化に親しむ機会を作っていることに感謝したい。



3 日米双方で高く評価されている JET プログラム

JET は日本の学校で語学指導などを行う外国青年招聘事業。多くの OBOG が、本国に帰国後も各界各層で活躍しており、パブリック・ディプロマシーの成功物語として高く評価されている。米国全土からは毎年千名以上が新たに参加し、1987年の発足以来、累計約4万人が参加。その JET・AA（同窓会組織）の米国年次総会が、9月下旬に管轄のミネソタ JET・AA 主催で開催された。

OBOG が、AA に加入し、新規参加者勧誘のための広報発信、地元や出身学校での JET での日本滞在経験の共有や日本紹介活動など、草の根の活動を行っていることに感謝したい。OBOG には、日米協会・日系人社会・各地の日本祭り・姉妹都市関係者等とさらに結びつくこと、日本語教師のキャリアパスも視野に入れることを期待したい。

日米グローバル・パートナーシップの基礎には、JET をはじめとする長年の草の根の人的交流を通じて築かれてきた信頼と友情の絆があることを改めて実感した。



総会で挨拶



全体の集合写真